

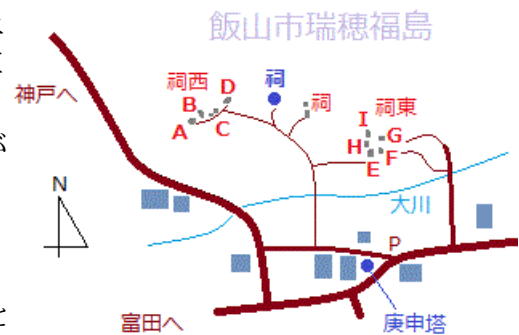


飯山市瑞穂福島地区の神戸方面への分岐の近く、山に少し入った所に小さな祠があり、その周辺に意外と遊べるボルダーが3箇所ある。

岩質は安山岩でホールドはしっかりしており、高さは1mに満たないものから3m強ほど、一日過ごすには物足りないが、ちょっと遊ぶには十分で、時間のない時などは利用価値が高い。

アクセスとアプローチは、神戸(ごうど)への分岐の少し上に庚申塔があるので、そこに駐車し民家の裏の旧道(夏草茂る)を少し下って畑(棚田)の間の細い道を山に向かい入っていく。川を渡り少し登ると右に東エリアへの踏み跡があり、左上していくと小さな祠があるが、その少し手前で右に登ると祠エリアである。祠を見送り、さらに西にトラヴァースして行き尾根まで出ると西エリアである。民家の近くを歩いていくため、地元のボルダラー以外は、利用しにくいと思われる。

シーズンは多雪地帯のため冬季は不可だが、山の南斜面にあるため、春先の雪解けが早く、3月から利用可能と思われる。



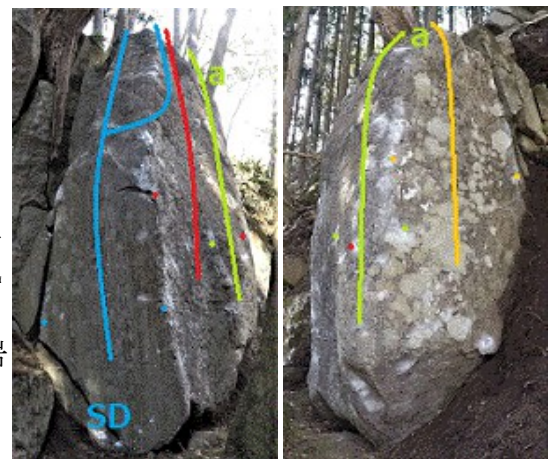
《課題紹介》

●祠エリア

トポ左:左フランケ&正面 右:右フランケ

石の祠の近くの昔大きなお宮があったというテラス状になった所にある3m強のボルダー。植林帯内にあるが、風の通りが良いのか、雨後などの乾きは良い。

ムーヴ的には正面の赤ラインと黄緑ラインが面白い。岩の前に立ち木があるので、落ちた時にケガをしないよう、小さめのマットを間に敷いた方が良い。



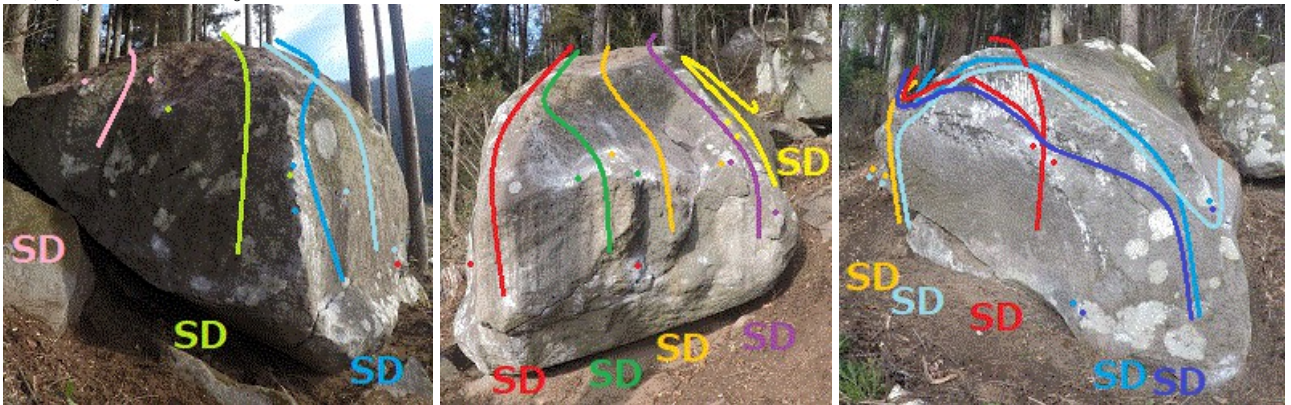
赤ラインは、左カンテと右カンテ(穴状)を使って、左足右足を上げ、立ちこんでカンテ上部に手を飛ばしていく。

黄緑ラインは、正面のアンダー気味のホールドを左手、右側壁の甘いホールドを右手で、一気に右足と左足を上げ立ちこんで、右手をカンテ上に飛ばす。

トライされたのはこの岩とその上にある岩で、上の岩は土手を登って取付くが、落ちると下まで転げ落ちるため、トップロープでトライした。まだ課題はあるが、あまり面白くないので、一度手を付けたままで、その後トライはしていない。

●祠西エリア

杉の植林が伐採され、道路から見えるようになったため見つかったボルダー。大きなボルダーはないが、日差しが良く差し込むため乾きが良く、特にA岩は南西側に展望が開けているので、気持ち良くトライできる。



上段左:A岩北西&南西面

上段中央:A岩南東面

上段右:B岩

下段左:C1岩(手前)&C2岩

下段右:D岩

○A岩は、西エリアの中では一番大きいですが、それでも2m程しかない。

ムーヴ的には南東面の赤、緑、オレンジ、紫ライン辺りが手数は少ないが面白い。

青ラインは、左足を適当にカンテ付近に上げておいてレイバックで体を上げる。

水色ラインは、スタートで両手、足を3つの穴を使ってスタート。どちらの足でも良いが、穴ホールドに立ってから手を岩上に飛ばす。

黄色ラインは、スメアでスラブ上のホールドを使ってトラヴァースする。

○B岩は、横広の岩で、昔採石したと思われるくさび痕がリップに沿って残っている。

赤ラインは、両手スローパーホールドから、直上と左抜け(くさび痕不使用)がある。

紺ラインは、スタートホールド以外は上のリップを使わず赤ラインの左抜けに合流する。

左下の挟まった石は全課題で使用不可で、オレンジラインのトライでは非常に邪魔である。

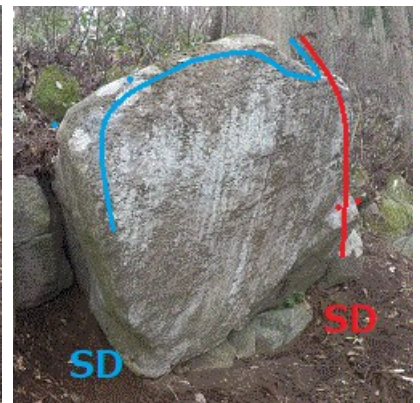
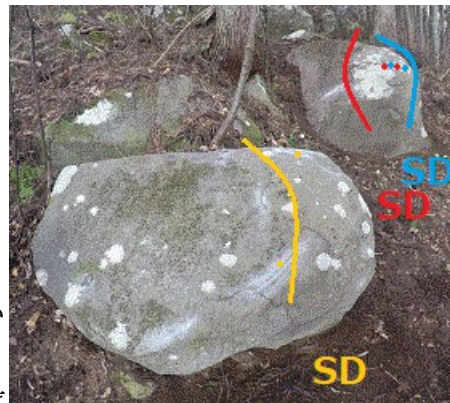
○C岩は、C1、C2ともに1mにも満たない岩で、課題ができそうなので一応登ってみた。

C2岩は右抜けと左抜けがある。

○D岩は、正面は良いホールドがなく、見た目面白みはなさそうだったが、左右のカンテ辺りをトライしてみたら意外と面白い課題ができた。

赤ラインは、甘いホールドで引き付けリップに手を飛ばすがちょっと遠い。

青ラインは、リップをトラヴァースしていくが、ガバを取るまであまり良い足がない。



●祠東エリア

K・M氏が自宅の裏から、棚田の向こうに岩が見えるとのことで、確認しに行ってみると、対象になりそうな岩が幾つか転がっており、大きめの岩が1個、限定すれば遊べそうな岩が4個ほどあった。

ここは南側が杉の植林帯であり乾きが良いとは言えないが、私のような小刻みにしか時間が取れないものにとっては、1時間ほどの空き時間でも遊んでこれるというのは贅沢この上ない。

アプローチは祠側と東側の棚田方面から行けるが、上の棚田からは、夏は草藪になるので祠側からの方がむ無難である。

上段左:E岩南西面

上段右:E岩東面

中段左:F岩

中段右:G岩

下段左:H岩

下段右:I岩

○E岩は、東エリアで一番大きな岩で、2m強程ある。

南西面と東面のコンタクトラインのSD課題は良いフットホールドがなく、ちょっと厳しい。

赤ラインは、水色ラインの上部のガバは使わず左寄りから上に抜ける。

オレンジラインは青ラインのカンテの良いホールドは使わず、カチと縦ホールドで引き付けたら上部のホールドにデッドする。

○F岩は、E岩の隣の小さな岩で南面側は下が石垣の段差があるので、しっかりクラッシュパッドを敷いた方が良い。

赤ラインは左右のカンテのサイドプルとスメアでスラブの中央を登る。

○G岩は、易しい課題が2本あるが、赤ラインは右ヒールをかけ、岩上のホールドを取る。

○H岩は、一番上の岩で、大きいのだが、上がスラブになってしまい高さがなく残念。スタートはリップ上のホールドを使うが、良い足がなく意外とパワーを使う。岩の下に挟まっている石は全て使用しない。

○I岩は、スラブ状の岩で、南面に易しいマントリング課題2本と西面のスラブに易しいノーハンド課題が2本ある。

